

宮川ダムNEWS

令和5年2月号

発行:宮川ダム管理室
電話0598-78-3221



宮川ダムの取り組みや情報をお知らせする「宮川ダムNEWS」です。

【令和4年度 ダム放流について】

今年度、宮川ダムでは合計1回のダム放流を行ないました。

【放流期間】

第1回 9月17日～25日

【原因】

台風14号・15号

【総雨量】

621mm

ダムに流れ込む水量(流入量)の一部をダムに貯め、ダムから放流する水量(放流量)を抑えることにより、下流の増水を緩和させました。



【宮川ダム管理法面の対策工事に着手しました】



管理事務所下の左岸法面は、風化による小崩落や亀裂が確認され、このまま放置すると大規模崩落時に、ダム下の減勢工が埋塞する恐れがあり、ダム放流に支障をきたします。このため、法面の安定化を図るため令和5年5月より対策工事に着手し、令和7年3月に完成予定です。

工事期間中は大型車両の通行等ご不便をおかけしますがご協力をお願いします。

【河川環境改善(土砂還元)の取り組みについて】

令和3年3月にダム直下に置土した約4,000m³の盛土は、令和4年11月までにダム放流により約3,000m³が下流へ還元されました。調査の結果、桧原橋までの間に約2,800m³が淵のくぼみ等に堆積が確認されています。土砂が流下した区間は土砂混入した流水により、クレンジング効果が高まり、古い藻や苔が剥離していることが確認され、今後、新鮮な藻や苔の発育する基盤が生成され、多様な魚類の生息環境が広がると考えられます。

今後も引き続き、モニタリング調査を継続し河川環境の把握を行います。

大杉谷橋上流の河川状況

